

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これまでの知的活動の中心は、記憶と再生にあった。それでは①グライダー人間が多くなるのも当然である。学校は、すでにのべたように、グライダー訓練所であるのをすこしも恥じるところがない。むしろ、それを誇りにしてきた。社会もそれを怪しむことをしなかった。

記憶は人間にしかできない。大事なことを覚えておいて、必要ときに、思い出し、引き出してくるというのは、ただ人間のみできることである。ずっとそう考えられてきた。その能力を少しでも多くもっているのは、優秀な人間とされた。教育機関が、②そういう人間の育成に力を注ぐのは当然の責務である。これまでは、これに対して、深く考える必要がなかった。疑問を投げかけるものがなかったからである。ところが、ここ数十年、しだいにおおきく、記憶と再生の人間の価値がゆらぎ始めた。

コンピュータという機械が出現したからである。コンピュータがその名の示すように計算をするだけなら、それほど、おどろくこともない。コンピュータは計算機の殻を脱皮すると、すこしずつだが人間頭脳の働きに近づき出した。

そのうちで、すでに確立しているのが、記憶と再生の機能である。これまで人間にしかできないとばかり思われていたことを、コンピュータがどんどん、いとも簡単に片付けてしまう。人間なら何十人、何百人もかかるような仕事を一台でこなしてしまうのを **A** の当り見せつけられて、人間ははじめのうちこそ **B** を巻いて感嘆していられた。

やがて、感心ばかりもしていらなくなり出したのである。人間とは、なんなのか、という反省がすこしずつ芽生えてきた。われわれは、これまでいっしょうけんめいに勉強して、コンピュータのようになることを目指していたのであるのか。しかも、記憶、再生とも、人間は、とてもコンピュータにかなわない。

本物のコンピュータとして見れば欠陥があるが、人間コンピュータは、電源はいらぬし、どこへでも自分の足で移動できるという点で自からを慰めることもできるであろう。

③きわめて優秀な記憶再生の装置がつくられることになって、不完全な装置を頭の中へ組み込もうとしてきたこれまでの人間教育が急に間の抜けたものに見え出してきた。学校はコンピュータ人間を育ててきた。しかもそれは機械に負けてしまうコンピュータ人間である。機械が人間を排除するのは歴史の必然である。現代は新しい機械の挑戦を受けるといふ問題に直面しているのに、お互いそれほどの危機感をいだいていない。きのうまでのことがきょうも続き、きょうのことは明日もその通りはこぶであろうという **a** 保守主義に目がくらんでいるためであろう。

人間は機械を發明して、これに労働を **C** 代わりさせてきた。機械は召使いで、人間が思うように使いこなす。そう考えることもできるけれども、逆から見ると、人間は自分の作り出した機械に仕事を奪われる歴史をくりかえしてきたと見ることもできる。ただ便利になったと言って喜んではいられない。

これまでの歴史でもっとも顕著な事例は、産業革命である。それまで人力で行われていた工場作業が、馬力を持った機械によってとってかわられた。工場の主役は人間から機械に移った。人間は機械を操作するにすぎない。実際にものをこしらえるのは、機械である。

機械に仕事を奪われた人間は、機械の **D** の出ない事務所の中に主要な働き場所を見つけて、サラリーマンが生まれた。事務のできるのは人間だけである。その事務が複雑になるにつれて、おびただしい事務員が必要になった。

産業革命は、機械が工場から大量の人間を追い出した変化であった。人間らしい仕事を求めて、人々は事務所へ立てこもった。ここへは機械は **E** をふみ入れることができない。聖域である。この状態が西欧においては二百年続いたのである。

コンピュータの登場で、この聖域はあえなくつぶれようとしている。機械がすばらしい事務能力をもっている。人間は何かというと不平を言うが、

コンピュータは文句を言わない。労働基準法にしばられることもないから、**F** **G** も可能である。泰平の夢になれてきたサラリーマンは思いもかけぬ強敵の出現に、もつとおどろかなくてはならないはずだ。

機械と人間の競争は、新しい機械の出現によって機械的な性格をあらわにする人間の負けに終るのである。コンピュータは、われわれの頭がかなりコンピュータ的であったことを思い知らせた。しかも、人間の方がコンピュータよりもはるかに、能力が劣っているときている。

これでは、社会的に④自然淘汰の法則を受けないではいられない。機械的人間は⑤早晩、コンピュータに席を明け渡さなくてはならなくなる。産業革命を考えても、この予想はまずひっくりかえることはあるまい。

これまでの学校教育は、記憶と再生を中心とした知的訓練を行ってきた。コンピュータがなかったからこそ、コンピュータ的人間が社会で有用であった。記憶と再生がほとんど教育のすべてであるかのようになっているのを、おかしいと言う人はまれであった。コンピュータの普及が始まっている現在においては、⑥この教育観は根本から検討されなくてはならないはずである。学校だけの問題ではない。ひとりひとりの頭のはたらきをどう考えるか。思考とは何か。機械的・人間的概念の再規定など、重要な課題がいくらでもある。

これまで述べてきた内容が、知ること、よりも、考えることに、重点をおいてきているのも、知る活動の中には、機械的側面が大きく、それだけ、人間的性格に問題をはらんでいるとする考え方に立っているからである。いちはやくコンピュータの普及を見たアメリカで、創造性の開発がやかましく言われ出したのは偶然ではない。人間が、真に人間らしくあるためには、機械の手の出ない、あるいは、出しにくいことができるようになってはならない。創造性こそ、そのもつとも大きなものである。

しかし、これまで、グライダー訓練を専門にしてきた学校に、かけ声だけで、飛行機をこしらえられるようになるわけがない。はたして創造性が教えられるものかどうかすら疑問である。

ただ、これからの人間は、機械やコンピュータのできない仕事をどれくらいよくできるかによって社会的有用性に違いが出てくることははっきりしている。どういふことが機械にはできないのか。それを見極めるには多少の時間を要する。創造性といった抽象的な概念をふりまわすだけではしかなかったが、

(外山滋比古『思考の整理学』)

問一、傍線部①「グライダー」と対比的に表現されている語句を、本文中から抜き出し答えなさい。

問二、傍線部②「そういう人間」とはどのような能力をもった人間か。本文中の表現を使い四十五字以内で説明しなさい。

問三、本文中の空欄A、Eには、人間の体の部分の名称が入る。それぞれ漢字一字で答えなさい。

問四、傍線部③「きわめて優秀な記憶再生の装置」とは何か。本文中の語で答えなさい。

問五、本文中の空欄aに入る最も適当な言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、消極的    イ、排他的    ウ、積極的    エ、楽天的

問六、本文中の空欄F・Gにはそれぞれ漢字一字が入る。次から適する漢字の記号を選び、四字熟語を完成させなさい。

ア、用    イ、休    ウ、利    エ、調    オ、眠

問七、傍線部④「自然淘汰の法則」とはどのようなことか。最も適するものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、能力の低いものでも、やり方によっては生き残ること
- イ、能力の高いものが主役となり、生き残っていくこと
- ウ、能力の高いものと低いものが互いに協力しあうこと
- エ、能力の高い低い以外に、大切なことが存在すること

問八、傍線部⑤「早晚」の意味として最も適するものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、一刻も早く
- イ、手っ取り早く
- ウ、怠ることなく
- エ、遅かれ早かれ

問九、傍線部⑥「この教育観」とはどのようなことか。その内容について説明した一文を本文中から抜き出し、最初の五文字を答えなさい。

問十、この文章で筆者が述べている内容とあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、人間が人間らしくあるためには、創造性のような機械にはできないことをできるだけだけしていく必要がある。
- イ、学校は、これまで機械に負けてしまうコンピューター人間を育てることに力を注いできたが、社会もそれを怪しむことはなかった。
- ウ、人間とコンピューターを比較すると、記憶と再生ではコンピューターが勝るが、事務処理については、人間の方が勝っている。
- エ、産業革命に代表されるように、人間は便利を手に入れた代わりに、自ら作り出した機械に仕事を奪われるという歴史を繰り返してきた。

【2】 次の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

- ① 今朝
- ② 若人
- ③ 会得
- ④ 精進
- ⑤ 出納

【3】 次の傍線部のカタカナの部分に漢字に直しなさい。

- ① シンセンな野菜を食べる。
- ② 提案をケントウする。
- ③ 生徒をインソツする。
- ④ ジマンの歌を披露する。
- ⑤ クワしく事情を聞く。

【4】 次の（ ）に漢字一字を補い、四字熟語を完成させなさい。

- ① 無我（ ）中
- ② 一日（ ）秋
- ③ 南船北（ ）
- ④ 奇（ ）天外
- ⑤ 自（ ）自足

【5】 次のことわざの（ ）に当てはまる語を後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① 木によりて（ ）を求む
- ② （ ）より団子
- ③ 能ある（ ）は爪を隠す
- ④ 捕らぬ（ ）の皮算用
- ⑤ 泣きっ面に（ ）

〈解答群〉

- ア、蜂
- イ、魚
- ウ、犬
- エ、鷹
- オ、狸
- カ、花
- キ、仏
- ク、鳥

【6】 次の傍線部の単語の品詞を後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① その選手の泳ぎは、人々から注目された。
- ② 台風が過ぎ去り、空がすつきり晴れた。
- ③ その研究室は、あらゆる植物の分布を調査している。
- ④ 京都および奈良は、我が国の旧都である。
- ⑤ もしもし、あなたはどなたですか。

〈解答群〉

- ア、名詞
- イ、動詞
- ウ、形容詞
- エ、形容動詞
- オ、接続詞
- カ、副詞
- キ、連体詞
- ク、感動詞

【7】 次の人物の作品を後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① 芥川龍之介
- ② 森鷗外
- ③ 川端康成
- ④ 夏目漱石
- ⑤ 太宰治

〈解答群〉

- ア、『こころ』
- イ、『羅生門』
- ウ、『走れメロス』
- エ、『雪国』
- オ、『高瀬舟』

【8】 次の各組の熟語が対義語の関係になるように、（ ）内に入れる漢字一字を答えなさい。

- ① 成功 | 失（ ）
- ② 怠惰 | 勤（ ）
- ③ 創造 | （ ）倣
- ④ 縮小 | （ ）大
- ⑤ 建設 | （ ）壊